

キーホルダー作りに挑戦

南三陸ホテル観洋
テル観洋 芦田さんが指導

南三陸ホテル観洋でこのほど、来年の干支（えと）であるトリのマスコット付きキーホルダー（チャーム）の制作が行われた。

国内外で活躍しているファッションデザイナーの芦田多恵さんが、東日本大震災後に同ホテルで避難生活を送っていた女性たちを応援するため、2013年に「ミナ・タンチャーム」として始めたプロジェクト。年に

数回マスコット作りを行っており、今回が節目の10回となった。

マスコット作りには、町内の女性10人が参加。芦田さんをはじめ、芦田さんが所属する婦人服ブランド「ジュン・アシダ」のスタッフが指導に当たった。マスコットには「ジュン・アシダ」で使う高級輸入生地、残布やボタンなどを使用していることや、手作りされていることな

どもあって人気を集めている。

芦田さんらからマスコットの作り方を教わった参加者は、手際良く一針一針丁寧に作業を進めていた。志津川小森の西城いさ子さん（71）は「私も西年生まれ。みなさんのおかげでもの作りの楽しさを再確認できました」と笑顔を見せた。

同社広報担当の笹子稔さんは「われわれもみなさんの笑顔に元氣



マスコットの作り方を指導する芦田さん㊦（観洋提供）

2016年12月15日（木）

【三陸新報】